# 奥羽大学報

「秋ふたり」（山田良定氏 作）

目　次

菊地純奈央（薬6）さんがベストトレーニー賞を受賞／
先天異常学会優秀演題賞受賞の報告 ……………………………… 2
奥羽大学歯学会の開催／科研費採択促進のための大学院特別研修
セミナーの開催／研究倫理に関する大学院特別研修セミナーの開催／
大学院研究経過発表会の開催／臨床教育力養成研修会 …………… 3
中央棟の外壁補修工事／新型コロナウイルス感染症 ～本学の対応（5）～ ‥ 4
コロナ渦における歯学部の学生指導について …………………… 5
コロナ禍における薬学部の学生指導について …………………… 6
コロナワクチン大学拠点接種を実施／キャンパスの風景 ………… 7
無垢サロン …………………………………………………… 8
附属病院 ……………………………………………………… 9
歯学部研究紹介 ……………………………………………… 10
薬学部研究紹介 ……………………………………………… 11
痣を「ブンズ」と表現する福島県民 ……………………………… 12
中條雅人先生を偲んで ………………………………………… 13
同窓会だより／同窓生のひろば ………………………………… 14
人事 …………………………………………………………… 15
給付型特待生制度 ……………………………………………… 16

169

## 奥羽大学の理念・目的

### 理　念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

### 目　的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

1．歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2．薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

## 菊地純奈央（薬6）さんがベストトレーニー賞を受賞

7月21日㈬に郡山市の公益財団法人星総合病院にて開催された「公益財団法人星総合病院 開設96周年記念式典」において、薬学部6年菊地純奈央さんが「ベストトレーニー賞」の表彰を受けた。この賞は星総合病院の数多くの実習生の中から成績優秀者を表彰するものだ。

菊地さんは「このような賞をいただけて光栄です。これからも学習に励み国家試験合格、自分の理想とする薬剤師になれるように努力します」と御礼と抱負を述べた。

## 先天異常学会優秀演題賞受賞の報告

薬学部　講師　熊本 隆之

8月7日㈯～8日㈰にオンラインで開催された第61回日本先天異常学会学術集会にて、演題「系統差に着目した過剰肋骨のホメオボックス遺伝子を中心とした遺伝学的解析」が優秀演題賞を頂戴したので報告します。

本研究は、医薬品をはじめ農薬や化学物質などに行われる安全性試験のうち、催奇形性試験で見られる過剰肋骨について、その発生機序を実験的に確かめ、安全性の評価に役立てることを目的としています。学会では受賞者講演（プレナリー）としても発表しました。

この研究は本学薬学部の研究室所属学生（6年生・橋本和樹さん）と準備段階から共に進め、卒業研究としても報告しています。また、本研究は科研費助成事業（若手B：研究代表者 熊本隆之）の助成を受け、多くの先生方のアドバイスを受け進めたものです。ここに感謝の意を表します。

## 奥羽大学歯学会の開催

第69回奥羽大学歯学会が6月19日㈯に開催された。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、Zoomを用いたオンライン開催となった。オンラインでの学会開催は初めての試みであったが、学会運営スタッフの尽力と発表者・参加者全員の協力によって大きなトラブルもなく遂行できた。今回は基礎、臨床、さらには歯学教育と幅広い分野から5つの演題発表があり、活発な討論が展開された。

当日は歯学会の学会賞及び発表賞の表彰も行われ、学会賞が船川竜生講師に、発表賞が眞島いづみ講師と北條健太郎講師に授与された。

## 科研費採択促進のための<br>大学院特別研修セミナーの開催

本学では日本学術振興会の科学研究費助成事業（科研費）の採択件数促進のために様々な試みを行っている。その一環として、科研費採択促進のための大学院特別研修セミナーを7月2日㈮午後5時15分からオンラインで、名古屋市立大学学長の郡 健二郎博士を講師として開催した。郡 健二郎先生は多数の研究者の科研費申請を指導すると共に科研費申請に関する書籍を出版しており、科研費申請を行う全国の研究者の間でベストセラーになっている。

セミナーでは、採択される申請書をいかにして書くべきかについての詳しい解説があった。今まで本学教員が気付いていなかった細かい点の指摘もあり、大変有意義なセミナーとなった。当日は歯学部教員・薬学部教員の計109名が参加したが、内容も素晴らしく科研費申請書の作成にとても参考になるセミナーであったとの感想が寄せられた。

## 研究倫理に関する<br>大学院特別研修セミナーの開催

研究倫理に関する大学院特別研修セミナーが7月16日㈮午後5時15分からオンラインで、明治薬科大学教授の前田英紀博士を講師として開催された。最近では、サイエンス分野のみでなく、社会問題ともなっている「ハゲタカジャーナル」について、その定義から始まり、どのようにすればそのような粗悪な学術雑誌に巻き込まれることを防げるかについて具体的な事例に基づいた詳しい説明があった。

ハゲタカジャーナルからの論文投稿の勧誘は、インターネットを通じて日常的に行われている。そのため、多くの教員・大学院生にとって、警鐘となる有意義なセミナーであった。当日は歯学部教員・薬学部教員・大学院生の計101名が参加した。

## 大学院研究経過発表会の開催

本年度の大学院研究経過発表会が、9月2日㈭にZoomを使用してオンラインで開催された。大学院生は、学位申請を行う前年度の夏に学位研究の内容を大学院教員に対して発表しなくてはならない。これは、学位論文の質的向上を目指して1993年から行われている取り組みである。

今回は8名の大学院生の経過発表があり、それに対して大学院教員からは建設的な助言が数多く寄せられ、非常に有意義な発表会となった。

## 臨床教育力養成研修会

歯学部臨床教育力養成ワークショップは8月31日㈫、若手教員9名の参加により行われた。平成23年度から9回目の開催となる5名と4名の2班での構成により、昨年と同様に午前のみの内容とした。ディレクターの山森徹雄教授のほか、スーパーバイザーとして東京歯科大学から杉戸博記准教授を招いた。チーフタスクフォースの清野晃孝准教授の主導のもと、臨床実習における基本的臨床技能の中で保存系と予防・指導系を選択し、カリキュラムプランニングにおいて、学習目標をグループワークにてプロダクトを作成、発表するなど若手教員に有意義な研修であった。

## 中央棟の外壁補修工事

今年2月13日㈯に発生した福島県沖地震による中央棟外壁の亀裂などの補修工事が8月から始まった。工事内容は損傷した外壁の補修と塗装の塗り替えで、10月いっぱいかかる。

中央棟の建物全体が鉄パイプで足場が組まれ、飛散防止用のメッシュシートでスッポリと覆われた。9月9日㈭から高圧洗浄で外壁の汚れを落とす作業に入り、順次外壁の塗り替え作業が行われている。

中央棟は、東北歯科大学時代の1976年（昭和51）からの建物で、シンボル的な存在だ。10年前の東日本大震災では一部損壊を受け、今回の福島県沖地震でも試練を受けた。

1、2階の図書館は地震のたびに図書が散乱し、休館を余儀なくされていた。今回は建物全体の修復が行われ、新しく生まれ変わることが期待される。

## 新型コロナウイルス感染症　～本学の対応（5）～

前号に引き続き、2021年6月1日㈫以降における本学の対応を以下に示す。

福島県は、6月に入ると県内に発出していた非常事態宣言を解除し、感染ステージを2に引き下げた。しかし、国内では依然として感染拡大が収まらず、北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県に出されていた緊急事態宣言が6月20日㈰まで延長となった。また、埼玉県、千葉県、神奈川県、岐阜県、三重県においてもまん延防止等重点措置が6月20日㈰まで延長となった。そんな中、本学は合同献体慰霊式を6月3日㈭に常居寺本堂で実施した。緊急事態宣言が発出されている最中であることから、御遺族、白菊会会員、御来賓の感染リスクを考慮し、学内関係者のみで執り行った。

国内のコロナワクチン接種は、2月から医療従事者向けの先行接種が始まり、3月には一般の医療従事者、4月には高齢者への接種が開始された。本学附属病院の診療業務に従事する全職員と臨床実習生等、関連会社等の職員に対しては5月から開始した。厚生労働省は、ワクチン接種の加速化をはかるため、職域ごとに接種会場を設置する方針を発表し、文部科学省は大学を接種会場にするよう全国の国公私立大学に協力を求めた。本学は、文部科学省のヒアリングを受けた後、6月25日㈮、厚生労働省に申請した。しかし、モデルナ社製ワクチンの供給が不足していることから、厚生労働省の承認を得たのは8月13日㈮のことであった。この間、接種券が届いた職員のワクチン接種を加速するため、6月28日㈪に「新型コロナワクチン接種について」を学内メールのインフォメーションに掲載した。

福島県の7月感染者数は10人から20人で経過していたが、下旬には80人を超える日が続いた。政府は、沖縄県、東京都に緊急事態宣言を、埼玉県、神奈川県、千葉県、大阪府にまん延防止等重点措置を発令し、期間を7月12日㈪から8月22日㈰までとした。デルタ株がまん延し感染者が増加しているなか、学生と職員の夏季休業を控えていることから、「夏休み・お盆を安全に過ごすためのお願い」を学内メールのインフォメーションに掲載し、感染防止対策を徹底するよう呼びかけた。

福島県の感染者数が8月2日㈪に100人を超えたことから、県は、5日㈭、県内全域に非常事態宣言を発令し、感染ステージを3に引き上げた。これに伴い、本学の行動基準をステージⅢに引き上げ、「新型コ

ロナウイルス感染症：本学の行動基準をステージⅢに引き上げます」を掲載し、学生・職員に注意喚起した。8日㈰、福島県にまん延防止等重点措置が発令され、いわき市が対象区域になった。その後も感染者数は急増し、12日㈭には211人とこれまでの最高を記録し、それ以降は100人前後で推移した。郡山市の感染者数も増加し、11日㈬に36人を記録して以降20 ～ 30人で推移した。福島県は、病床使用率が上昇し医療提供がひっ迫しているとして、まん延防止等重点措置を郡山市は23日㈪から、福島市は26日㈭から適用し、いずれも9月12日㈰までとした。郡山市にまん延防止等重点措置が適用されたことを受け、「福島県まん延防止等重点措置に基づく要請」を学内メールのインフォメーションに掲載し、県の感染防止対策に協力するよう要請した。国内の感染者が急増し、9月12日㈰を期限とした緊急事態宣言とまん延防止等重点措置は33都道府県に及んだ。

本学を会場とするコロナワクチンの大学拠点接種が9月2日㈭から開始された。自治体のワクチン接種加速化に協力する目的で、本学学生と東北歯科専門学校学生のほか、関連会社の職員、近隣住民などを対象とした。福島県に発令されていたまん延防止等重点措置は医療がひっ迫しているとして12日㈰の期限が30日㈭まで延長された。重点措置が発令されている中ではあるが、福島県知事は、13日㈪、県内の感染状況と医療提供状況が全体として改善しているとし、ステージ2相当に判断を引き下げた。これを受け、引き続き感染防止対策に取り組むことを前提に、本学の行動基準をステージⅡに引き下げることを学内メールのインフォメーションに掲載した。福島県内の感染者数は減少に転じ、20日㈪には一桁台になったことから、郡山市、福島市、いわき市を除く全域に出されていた県独自の非常事態宣言は21日㈫に解除された。まん延防止等重点措置が23日㈭に郡山市と福島市で解除されことを受け、「まん延防止等重点措置解除後も感染防止対策の徹底を！」の記事を学内メールのインフォメーションに掲載した。

6月1日㈫以降、学内メール（☆）と本学ホームページ（★）に以下の記事を掲載した。
★6月 3日㈭　「令和3年度合同慰霊式・実験動物供養が執り行われました」
☆6月28日㈪　「新型コロナワクチン接種について」
☆7月20日㈫　「夏休み・お盆を安全に過ごすためのお願い」
☆8月 6日㈮　「新型コロナウイルス感染症：本学の行動基準をステージⅢに引き上げます」
☆8月24日㈫　「福島県まん延防止等重点措置に基づく要請」
☆9月13日㈪　「新型コロナウイルス感染症：本学の行動基準をステージⅡに引き下げます」
☆9月24日㈮　「まん延防止等重点措置解除後も感染防止対策の徹底を‼」

## コロナ渦における歯学部の学生指導について

歯学部学生部長　瀬川　洋

誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）によるパンデミックで、国内外の状況が一変し、現在も予断を許さない状況にある。幸い、本学歯学部では未だ感染した学生の報告はない。そこで、歯学部学生部委員会（以下本委員会）のCOVID-19の感染対策の取り組みについて報告する。COVID-19の感染がわが国で最初に報告されたのは2020年1月16日㈭で、以降、連日報道され、本学学生の感染リスクが高まる中、感染予防の周知が必要と考え、歯学部と薬学部の両学生部長で話し合い、2月21日㈮に「本学学生に対する新型コロナウイルス感染症の注意について」を大学ホームページに掲載して、歯学部では第1～6学年の朝礼において、学年主任から「人混みを避ける」、「咳エチケット」、「手洗い」などの実施による感染予防に努めるよう、注意喚起と周知を行った。3月16日㈪には「新型コロナウイルス感染症に対する学生への対応について」が学長から発信され、加えて、3月25日㈬に「新型コロナＶ注意喚起」が発信された。これに基づき、一人ひとりが学内で感染者を出さないという強い意志をもって、感染予防に努めることとして、本委員会において、COVID-19のより具体的な感染予防対策について検討し、

それに基づき、歯学部長および学生部長連名の新型コロナウイルス感染予防の遵守事項を講義室に掲示、周知徹底した。緊急事態宣言に伴い、4月17日㈮～28日㈫まで臨時休校とし、この期間の講義・実習等については前期講義終了の7月22日㈬以降、授業を振り替えることにした。緊急事態宣言の延長に伴い、5月7日㈭～18日㈪まで臨時休業とした。この間、ポータルシステム（UNIVERSAL PASSPORT RX（以下ユニパ））の課題管理を活用した遠隔授業を対面授業の再開まで実施した。5月28日㈭に学長から本学の対応の変更が示され、学生および教職員に周知された。9月16日㈬には新型コロナウイルス感染症対応指針が学長から示されて、「新型コロナウイルスを学内に持ち込まない、持ち込ませない」ことを遵守、徹底が指示された。本指針はCOVID-19の相談窓口の変更やCOVID-19の最新知見に基づく改訂など現在まで2回変更が行われている。さらに、指針に基づいた感染対策を周知するためユニパを活用して、COVID-19に関わる情報や本学の対応の改定など迅速に発信している。現在、対面授業を優先した教育を行ない、講義、実習終了後は、速やかに帰宅して不要不急の外出を控え、自宅学習に心がけることを学生には伝えている。また、登校前に自宅での検温や風邪症状などの健康観察を行ない、健康管理表への記録、発熱等の風邪症状や体調不良がみられる場合には、クラス担任または学年主任に連絡した上で状況に応じて、無理に登校せずに自宅療養させることを徹底している。新型コロナウイルスワクチン接種に関しては、臨床実習を行っている第5学年の学生は本年6月下旬から接種を行ない、既に2回のワクチン接種が終了している。大学拠点接種は9月から実施して、10月末には2回接種を終了する予定である。今後とも教育職員は、歯学部の方針である「きめ細やかな教育・指導」に基づき、学生がそれぞれの目標を達成するために寄り添い、しっかり教育を行い、しっかり指導して、しっかり評価していく。

## コロナ禍における薬学部の学生指導について

薬学部学生部長　早坂 正孝

薬学部では、新型コロナウイルス感染症の危機に対処するため2020年4月に「新型コロナ感染症対策委員会」と「遠隔教育実施検討委員会」を新たに立ち上げ、感染防止と遠隔授業の支援体制を整えた。

2020年度は、授業開始に先立ち、学生の春季休業中の行動履歴と体調変化を調査するとともに、ガイダンスでは薬学部長が新型コロナ感染症の脅威について各学年に講義を行った。その後の全国を対象とした緊急事態宣言発令時には、遠隔教育実施検討委員会を中心とした事前準備が奏功し、遅滞なく遠隔授業へ移行することができた。薬学部では従前から遠隔授業のためのプラットフォームを導入していたため、ビデオ配信を含む質の高い遠隔授業の提供が可能であった。

同年5月に緊急事態宣言が解除されると、本学は対面授業を再開したが、この時以来現在に至るまで、薬学部教員による登校学生の体温と体調の確認を毎朝実施している。学生は、こうした措置の重要性を理解し、奥羽大生として自覚ある行動を続けており、現在に至るまで学内でのクラスター発生を未然に防いでいる。

一方で、特に新入生を中心にクラス内のコミュニケーション不足による人間関係の希薄化も懸念される。これに対応するため、昨年度と今年度は１年生を対象にオンラインによるクラスミーティングを実施した。マスクを外して語り合う機会は、多くの学生に好意的に受け入れられ、クラスの連帯感を高める方策として有効だった。

現在、コロナ禍の日常が長期に及び、感染防止対策に慣れや気の緩みが生じることが懸念される。学生に対して対策の重要性を継続的に説いていく必要性が高まっていることから、本年9月には、食事は静かに食べる、友達同士で大声で話をしない、適切なソーシャルディスタンスをとる、といった基本対策を改めて教室に掲示し、学生の意識向上を図っている。今後も油断することなく、適切な対策を進めていきたい。

## コロナワクチン大学拠点接種を実施

大学の施設を活用して行うコロナワクチンの大学拠点接種が本学でも始まった。本学の学生と職員、東北歯科専門学校の学生と職員、本学と関連する会社の職員および近隣住民を対象に９月２日㈭に開始された。大学拠点接種は、一時、モデルナ社製ワクチンの供給が滞ったこともあり開始が遅れていたが、8月中旬から全国的に始まり、9月18日㈯時点で355大学が実施した。自治体が進めるワクチン接種の加速化に協力する狙いがある。

本学の接種会場は中央棟３階の学生ホールとし、武田／モデルナ社のワクチンが用いられた。

接種する期間は、1回目は9月2日㈭～9月21日㈫、接種の曜日は月～金で、時間帯は午前中の9：30～11：30である。

1回目の接種（希望）者数は、総数は829名で、学内スタッフ（附属病院・歯学部・薬学部の教職員）の協力のもとにワクチン接種が行われ、大きな混乱なく終了した。

2回目は、9月30日㈭～10月15日㈮で、同じ曜日、同じ時間帯で、1回目と同様な体制で接種が行われる。

キャンパスの風景

## 秋ふたり

薬学部棟1階の玄関に入ると、いきなりこの銅像が目に飛び込んでくる。ジーンズをはいた二人の若い女性のブロンズ像である。

台座には「秋ふたり」と記されている。

真夏の太陽から、秋めいた街へと、仲良しの二人はこれからお出かけしようとしているのだろう。心が少し浮きたっているようにも見える。

ふと考えてみた。もし「秋ふたり」というタイトルが無かった場合、どんなタイトルを付けたらよいだろうかと。即座に、余計なことだと思って、止めた。

銅像の作者は山田良定氏。1931年（昭和6年）生まれ。2002年（平成14年）逝去。享年72。滋賀県近江八幡市の寺で生まれた。滋賀大学教育学部卒業、小、中、高の教師の傍ら日本芸術院会員富永直樹氏に師事、昭和38年日展初入選、以後毎年出品する。富永直樹氏といえば本学の「躍進」の像の作者である。

1990年（平成2)、この「秋ふたり」（高さ116㎝）で第26回日展 文部大臣賞受賞した。

本学では当時の文学部開設10周年記念としてこのブロンズ像を入手、現在のロビーに設置した。文学部は平成19年に廃止されたが、同建物を引き継いで薬学部が誕生した。まさに「秋ふたり」は文学部と薬学部の時の刻みを結びつけるオブジェであり、レジェンドである。

山田良定氏の作品には中央棟図書館西側に「ふれあいの像」、正門守衛室横に「ジーンズの女」（第24回日展出品作品、1992)、病院棟2階ロビーに「開幕の刻」（芸術院賞受賞作品、1998）などがある。いずれも女性を配した傑作揃いのブロンズ像である。ゆっくりとキャンパス散歩しながらの鑑賞もいいね。

（A）

## 無垢（むこう）サロン

# 人間老い易く学成り難し

歯学部　歯科補綴学講座　教授　羽鳥 弘毅

2001年9月11日夜10時頃、当時大学院生であった私は、講座研究室に入ってきた教授からの「アメリカがすごいことになっている！！」とう言葉を受け、テレビをつけた。そこには、マンハッタンにそびえるツインタワーで有名な世界貿易センタービルから黒煙が吹き出している様子が映し出された。「アメリカ同時多発テロ事件」の発生現場である。この事件を引き起こしたのはイスラム過激派テロ集団アルカイダであり、この事件を発端としてアフガニスタン紛争が勃発することとなった。以来20年、2021年8月31日にジョー・バイデン米国大統領が戦争終結を正式に宣言したことで幕を閉じたが、この先どうなるか全く不明である…。1991－2001年に発生したユーゴスラビア紛争でもテレビ報道などで激しい戦闘現場を目の当たりにした。これらの事件に対し、いろいろと解釈方法はあると思いますが、原因の一つとして宗教が複雑に係わっていると私は考えています。

私が宗教を意識するようになったのは、2010年8月のことです。このとき私は留学のため、ベルギーのブリュッセルに引っ越しました。そこで子供達を現地校へ通学させるため、入学手続き書類を記入していたのですが、回答項目の一つに「信仰する宗教」に関する質問があり、各宗教別に道徳の授業が実施されておりました。38歳まで宗教とは無関係に過ごしてきた私にとって、ヨーロッパ大陸において宗教は日本よりもさらに配慮されている、という日本に暮らしていては知り得なかった現実に直面しました。私なりの解釈として、ヨーロッパ史を振り返ってみますと、イスラム勢力への抵抗や宗教改革などを経て現在（信仰宗教に関する質問）に至るということなのでしょう。

9月1日から現地校の新学期が始まるのですが（入学式はナシ）、持参する荷物が多いため子供だけでは運び切れないので私も学校に付き添ってみますと、キリスト教（カトリック信者が多い国ということで判断）、イスラム教・ユダヤ教（保護者の着衣・帽子・ひげなどの見た目で判断）、仏教（中国人や日本人ということで判断）など様々な宗教的背景を有した児童が校庭に集合していましたが、皆普通の児童と保護者達でした。また、とある日の夜9時頃、ルーベン市（ベルギー）の留学先大学の近くで夕食を買おうとファストフード店に入ると、普段見慣れていた店員は店の奥でイスラム教の聖地メッカに向かい熱心に礼拝を捧げていました。彼も普通のイスラム教徒だったのでしょう。

ということで怖いのは宗徒個人ではなく、一部の熱心なもしくは偏った宗徒が集団化し（ハイになり、もしくは洗脳を受け）問題行動を起こすことなのでしょう。ただ、彼らは自ら行動を起こすのでなく、原因に対して報復（おそらく経典に則し）しているようです。

では何がいけないのでしょうか？宗教もしくは経典でしょうか？違うと思います。私が思うのは人間の欲求だと思います。パレスチナ問題がその代表例でしょう、三枚舌外交と称される狡猾な手口に翻弄され続け今に至りますが、未だに解決の糸口が見つかりません。留学をしたことで改めて世界史を少しだけ復習してみて視野が広がりました。自ら進んで行う勉強でないと頭に入ってこないようですね。38歳ではなく、18歳のときに気づいていれば…、と少しばかり後悔しています。だからこそ本学の学生には、「自ら考え答えを出し、その答えを検証して結論付ける」、という習慣を身につけることを期待しているのです！

一寸の光陰軽んずべからず！！

# 附属病院

## 附属病院研修歯科医派遣式

9月3日㈮、研修歯科医の派遣式を行った。コロナ禍であることから、7月の派遣予定が今日に至った。派遣式に臨んだのは、地域医療短期研修プログラムの前半組1名で、福島県会津若松市の協力型研修施設で9月6日㈪から4ヶ月の研修を行う。

式では研修歯科医が呼名され、杉田病院長から の訓示、プログラムの特徴と修了認定、研修心得の伝達後、研修歯科医から力強く決意表明があり、出席者からの激励の拍手が送られた。

## 休日・夜間時の自衛消防訓練

9月1日㈬附属病院において、歯科医師、看護師、事務職員など30名が参加し休日・夜間時の自衛消防訓練が行われた。地震および火災発生時の通報連絡の手順、4人および6人体制による担架搬送訓練を実施した。2021年2月13日㈯の地震時に勤務していた看護師は、患者搬送には避難する際の履物をスリッパから靴に履き替えること、布団を防寒用具及び頭巾として被ることなどが重要であることなどを説明した。

## 秋の薬用植物園

ミソハギ、オミナエシ、アキノキリンソウなどの彩りが眼を和ませてくれています。

## 歯学部研究紹介

### 窒素非含有ビスホスホネートのエチドロネートによるケモカイン産生抑制メカニズム

歯学部講師　山家 尚仁

骨粗鬆症治療薬の窒素含有ビスホスホネートの服用者では、顎骨骨髄炎・骨壊死が起こる頻度が高まることが明らかにされている。この理由の一つとして、窒素含有ビスホスホネートが炎症反応を高める炎症性サイトカイン産生を亢進させることが考えられる。一方、窒素を含有しない窒素非含有ビスホスホネートは、顎骨骨髄炎・骨壊死を起こすことはないことが報告されている。この理由は窒素含有ビスホスホネートの場合とは全く異なり、炎症性サイトカイン産生を亢進させることはなく、むしろ産生を抑制するためと考えられている。エチドロネートは、窒素非含有ビスホスホネートの中でも広く使用されている骨粗鬆症治療薬である。今回は、このエチドロネートの免疫薬理作用に関する最新の知見を紹介する。

白血球を中心とする微生物の感染防御に関わるヒトの細胞は、トールライクレセプターと呼ばれる体内に侵入した微生物を感知できる11種類のレセプターを持っている。この中でも特に重要なものが、細菌感染を感知できるトールライクレセプター 2と細菌の内毒素を認識できるトールライクレセプター 4である。したがって、細菌感染が起きた場合はトールライクレセプター 2と4が認識し、それがシグナルとなって白血球から炎症性サイトカインが産生されて感染防御が成立する。

それでは、窒素非含有ビスホスホネートであるエチドロネートは、トールライクレセプター 2や4が認識して起こる炎症性サイトカイン産生にどのように影響しているのだろうか？

In vitroにおいてヒトリンパ腫由来の単芽球様細胞のU937細胞にエチドロネートを加えて前培養後に、TLR2リガンドのPam3CSK4, あるいはTLR4リガンドのリピドAを加えて培養した場合に産生されるサイトカインには大きな違いが認められた(表)。

表　エチドロネートの抑制効果に及ぼすTLRリガンドによる違い

| TLRリガンドの種類 | サイトカイン・転写因子 | 産生・活性化の抑制効果 |
|---|---|---|
| Pam3CSK4（TLR2リガンド） | IL-8 | 産生の抑制 |
| | MCP-1 | 産生の抑制 |
| | NF-$\kappa$B | 活性化の抑制 |
| リピドA（TLR4リガンド） | IL-8 | 産生は抑制されない |
| | MCP-1 | 産生は抑制されない |
| | NF-$\kappa$B | 活性化は抑制されない |

以上の結果から、窒素非含有骨粗鬆症治療薬のエチドロネートによるサイトカイン産生の抑制はTLR2経路のNF-$\kappa$Bp65活性化を抑制することで、IL-8とMCP-1の産生をダウンレギュレーションしていることが示唆された。したがって、このような炎症性サイトカインであるIL-8やMCP-1の産生をエチドロネートが抑制することが、顎骨骨髄炎・骨壊死を起こさないことと関係すると推察される。

それに加えて今回の結果から、新型コロナウイルス感染症重篤化の原因であるサイトカインストームの発生を抑制する薬剤として、エチドロネートを応用できるとも考えられる。

## 薬学部研究紹介

### ウシ胎盤に特有の形態形成に関与する内在性レトロウイルスの探索と機能解析

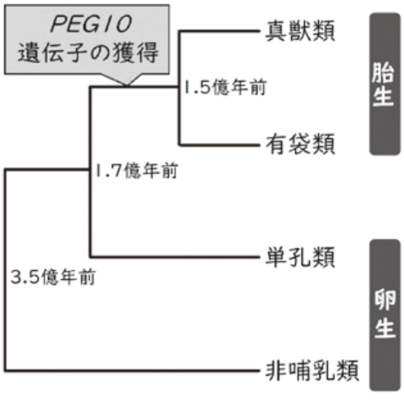
薬学部　生物・衛生化学分野　准教授　櫻井 敏博

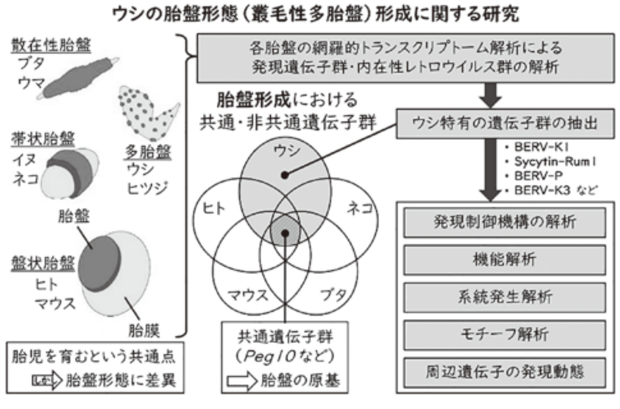
突然出現し、生活習慣まで変えてしまった新型コロナウイルス。新型コロナウイルスの真の姿は、未だはっきりとは見えていない。ウイルスが地球上に出現したのは、今からおよそ38億年前のこと。生命が誕生したのとほぼ同時期である。生命は、その誕生からウイルスの感染に脅かされ、戦いながら生き延びてきた。それ故、我々がウイルスに対して抱く感情は恐怖だけかもしれない。しかし細菌にも善玉がいるように、ウイルスにも都合のいいウイルスがいる。

2003年4月、30億にものぼる塩基配列すべてを読破しようとする壮大な試みであったヒトゲノム計画が完了した。ヒトの遺伝子の数は予想していた数より少なく2万ほどであり、全ゲノムに占める割合はわずか1.5%にすぎなかった。残りの98.5%を占める遺伝情報は、当初役割が分からず「ジャンクDNA」と呼ばれた。想像してみてほしい。一日千秋の思いで発売を待ち望み、ようやく入手したアイドルグループの写真集。100ページにものぼる写真集にもかかわらず目当ての推しメンがたった2ページ足らずしか掲載されていなかった時の戸惑いや驚愕に似ているのではなかろうか。まさにガラクタである。しかし、そんなジャンク写真集でも日の目を見ることもある。

ゲノム計画終了後20年近くが経過し、当初ジャンクと呼ばれていたDNA中にウイルスの遺伝子配列が存在しているのが分かった。しかもそれは、全配列の8%も占めている。はるか昔、ヒトの祖先に感染したウイルスの遺伝情報が、ヒトのDNAに化石として眠っていたのだ。この化石を「内在性レトロウイルス」と呼ぶ。新たな推しメンの発見であった。大型の捕食恐竜が跋扈していた大昔、真獣類の共通祖先でネズミのような形をした小型の哺乳類は、生き残るために驚くべき魔術を手に入れた。それが「胎盤」であり、今日までに至る真獣類の胎盤の始まりであった。胎盤という魔術を手に入れることができたのは、紛れもなく小型哺乳類に感染したウイルスのおかげであった。その遺伝子はレトロウイルス由来であり、その名をPeg10（下図左）という。

胎盤は、胎児を育むという共通項がありながら、種によってその形態は大きく異なる。当研究室では、ウシの胎盤に着目し、種特有の胎盤形態に関与する内在性レトロウイルスを同定（下図右）し、その機能を明らかにするべく研究に取り組んでいる。これまでに、BERV-PやBERV-K3など多くのウシ内在性レトロウイルスを見出し、その機能解析を行っている。



## 痣を「ブンズ」と表現する福島県民

本多 真史（歯学部日本語学・講師）

毎週、各県のゲストを迎え、県民の秘密をさらけ出すよみうりテレビのバラエティ番組『秘密のケンミンSHOW』。その番組において、新企画「ケンミン刑事」が始まりました。これは、県民性プロファイリング能力を持つ神宮寺刑事（高杉亘）が、小さなことから犯人の出身県を言い当てるというというものです。

2021年8月19日㈭。東京汐留署の取調室では、二人の刑事がある事件の犯人、安斎を問い詰めていました。安斎は事件の概要はすべて白状したのですが、なぜか自分の出身県だけは黙秘し続けます。困り果てた2人のところに神宮寺刑事が現れます。神宮寺刑事は、安斎が自分の足にできた痣を「ブンズ」と言ったのを聞き逃しませんでした。次の瞬間、神宮寺刑事は安斎を指差して「お前は福島県民だ！」と言い放ったのです。

福島県の方言に詳しいとのことで、番組制作担当者から、ブンズについての解説依頼がありました。コロナウィルス対策を徹底した上で、約1時間に及ぶ収録がなされました。しかし、番組内で私が登場したのは、1分程度。それに比例し、解説に用いた多くの言葉は、テレビから流れることがありませんでした。そこで今回は、福島県民が痣をブンズと表現する背景について、もう少し詳しくお話することにします。

上記を立証するため、番組内では実際に福島県いわき市へ行き、インタビュー調査を行っている様子が放送されました。若年層と思われる青年に、膝が青く腫れてるイラストを見せると「あ〜ブンズできちまった〜、と言いますね」との応答がありました。

この他にも、いわき市の中年層や高年層などインタビュー調査を行い、ブンズが根強く残っていることが確認されました。この場面だけを見ると、ブンズは、いわき市で盛んに使用されているように思われます。しかし、ブンズを使用するのは、そこに限ったことでありません。

我々の研究チームが、2001年に関東・東北境界地域で調査した結果を示します。図1は、当該地域における項目「痣」の調査結果です。図1を大観すると、複数語形が混沌しているようにも見えますが、アオ類、クロ類、ブン類は、それぞれの領域を形成していると考えられます。

上記のうち、着目したいのはブン類（図中➡系の記号）に含まれるブンズ、ブンズイロ（ニナル）です。この図から、ブンズ、ブンズイロ（ニナル）は、関東地方から南東北地方にまとまった勢力を持っていることがわかります。

ここで誰しも気になるのが、「なぜ痣をブンズと言うのか」という点でしょう。そこには、痣の色が関係していると考えられます。

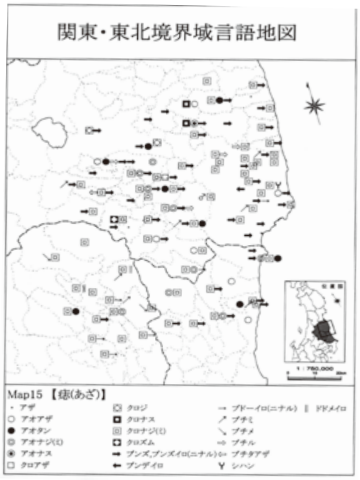



図1：関東・東北境界地域言語地図における「痣」の俚言分布（2001年調査）

現在でも、我々は自分の視覚がとらえた色（抽象的なもの）を相手に伝える場合、「微笑みからこぼれる歯のように真白い」（村上春樹『1973年のピンボール』）や「雪の日本海みたいな色」など、色を具体的なものに例えて表現します。その例えが、より身近なものであればあるほど、伝えられた相手はイメージしやすくなります。

児玉卯一郎氏によって書かれた『福島県方言辞典』（1935）に、「ブンゾ【名】葡萄」との表記が見られます。これにより、昭和のはじめ頃、福島県内においては葡萄のことをブンゾと言っていたことがわかります。また同書には、「ブンゾイロ【名】濃紫色（葡萄色）」とあり、葡萄のような濃い紫色をブンゾイロと表現してことも確認できます。現在使用されているブンズ、ブンズイロは、それが変化したものと考えられます。

これらを踏まえると、打ち身で内出血した痣の色が、葡萄の熟した実の色と同じ（または近い）ことから、痣のことを「ブンズイロになる」と表現するようになったと考えられます。ただし、こ

の場合の葡萄は、山葡萄を意味することに注意が必要です。今や山葡萄は、田畑や雑木林など、自然が残っているところに行かないと見られなくなってしまいました。ブンズの語感に近づいてもらうために、山葡萄とそれから採取できる色を提示します。

上記から、ブンズイロは葡萄色と微妙に違うことがわかります。単に葡萄色と言った場合、相手に伝わるニュアンスは異なってしまいます。ブンズイロという言葉に着目してみても、方言には、その言葉が担っている地域の生活、感覚などが含まれていることがわかります。

加えて、痣をブンズと表現する過程において、意味の拡大解釈が起きたと考えられます。この現象は、今に始まったことではありません。例えば、古典文学の世界において「花」と言えば梅（のちに桜）を指しますし、「寺」と言えば園城寺（三井寺）を指していました。これに見るように、ブンズイロニナルと言えば痣ができたことを意味するようになっていったと考えられます。さらには略語化も相まって、ブンズあるいはブンズイロは、市民権を獲得し、その語自体で痣を意味するようになりつつあります。流動性が見られる方言の世界では、自然な流れと言えます。先日、『福島県のことば』（明治書院）の「俚言の世界」を書き終えました。そこには、「ブンズイロ（名）内出血による痣。本来は紫色の意。」と記しました。

『秘密のケンミンSHOW』より

方言は、それを話す人々の生活と深く結びついています。一語の中に喜びや悲しみが秘められており、「土地のにおいがしみついている」という言い方もできます。「ごせやぐ」「くらつける」「いっきゃった」…。最近、めっきり使われなくなった方言があります。口にしなくなれば、その方言は時の流れとともに消えてしまいます。方言の奥深さを知れば、古里をもっと好きになるかもしれません。

## 中條雅人先生を偲んで

2021年7月29日㈭、中條雅人先生（2002年歯学部卒）がご逝去されました。前日までいつもと変りなく業務をこなされ、帰宅された深夜にくも膜下出血を発症されたとのことでした。46歳という若さであり、痛恨の極みであります。

先生は2002年の歯科医師国家試験合格後に1年間の臨床研修を修了して、2003年4月から診療科学講座（齋藤高弘教授）に在籍されました。診療科学講座は当時、最先端の機器を用いたシミュレーション実習に取り組んでおり、中條先生のほかにも若い先生方が集まった活気のある講座でありました。そこで臨床実習や歯科診療など9年間の研鑽を積まれた後、2012年4月より歯科保存学講座歯内療法学分野（木村裕一教授）に移籍されました。歯内療法学分野では歯痛を訴える方が初診患者として来院することも多く、長年にわたって初めて当院に来られた患者さんの診療当番をされていました。その間、歯科医師国家試験に合格した新人歯科医師のカリキュラムである臨床研修においても、指導歯科医として20名以上の臨床研修歯科医をご指導され、現在でも先生の指導を受けた数名の歯科医師が本学の各分野で活躍しております。さらに全国の歯学系大学で実施されている共用試験（OSCE）では、本学の外部評価者として何回も公務出張もされていました。

2021年3月には念願の博士（歯学）の学位を授与され、同年4月から附属病院地域医療支援歯科（杉田俊博教授）に異動され、まさにこれからご活躍される矢先のことでした。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

奥羽大学歯学部附属病院地域医療支援歯科
診療科長　佐々木 重夫

## 同窓会だより

加藤　崇（神奈川県支部長　歯学部12期生）

同窓生の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。 神奈川県支部でもコロナ禍の影響は避けられず、事業の延期・中止を余儀なくされています。その中でも本県の2つのトピックスについてご報告いたします。

本県には神奈川県各歯科大学同窓・校友会懇親懇話会（令和2、3年度は中止）なるものがあり、毎年当番校が輪番で幹事となり総勢200名程が一同に集まりで同窓会間の親睦を図っています。学術や時局講演会を行い、終了後は懇親会が行われます。円卓は同窓同士で固まるのではなく、年代や大学もバラバラの席に着きます。隣に旧設大学の大御所の先生がいらして一瞬氷付きますが、話してみれば気さくでフレンドリーな方で、拍子抜けしてしまいました。本学は同窓会員数では少数派のため、以前から松本歯科大学と北海道医療大学の3校合同で幹事をしていましたが、人手不足や3校間の意見統一が難しく、それを解消すべく本学が音頭をとり、何かとご縁のある神奈川歯科大学（学長の桜井先生は本学11期生）神奈川県同窓会にお手伝いする形で幹事の輪番から外れました。若手の先生はこのような会には参加したくないのが現状で、これからこのようなものが今後必要かどうか、検討する時期になったのではないでしょうか。

また、神奈川県歯科医師会ではコロナ対策として感染対策強化型診療所（感強診）という本県独自の認定制度を開始しました。①県行政の感染防止対策取組書をLINEに登録している②日歯の安心マークを登録掲示している③厚労省COCOAアプリの実施等の3つの取り組みに加え、「外来環」の施設基準を取得している診療所に県歯科医師会から診療室に掲示できる認定証が授与されます。待合室が掲示物だらけになりますが、メディアにも紹介され患者さんからの評判は上々とのことです。私が地区会長を務めている横浜市金沢区では県下1の4割以上の歯科医師会員が取得しています。今後は歯科医師会からのアルコールやガウンの配布や日々送られてくる情報に頼るだけでなく、私たち自身が常に危機意識を持ち、日々診療にあたることが重要であると考えています。

## 同窓生のひろば

古田 裕二（歯学部11期生）

皆様こんにちは、宮城県支部の古田です。宮城と聞いて頭に思い浮かぶものは何でしょうか？七夕、松島、笹かま、牛タン等々ございますが、今回は仙台の定禅寺ストリートジャズフェスティバル（通称ジャズフェス）についてご紹介したいと思います。ジャズフェスは1991年に25グループ150人のミュージシャンの参加で始まりましたが、その後、年々規模が大きくなり、直近の開催の2019年には2日間で710グループ約5,000人のミュージシャンが参加する一大イベントとなりました。ステージも定禅寺通りだけではなく、仙台市内の公園や街角などいろいろな場所で行われ、観客も70万人を超え、初秋の定禅寺通りはまさに音楽一色となります。ビール片手にお気に入りのステージをはしごするも良し、同じステージをじっくり、ゆっくり一日楽しむのも自由です！

ジャズフェスと言っていますが、音楽のジャンルはジャズはもちろん、フュージョン、ロック、フォーク等様々で、演奏スタイルも一人での弾き語りからビッグバンドまで多岐にわたっています。きっとお気に入りの音楽に出会える事と思います。実を言いますと私も10年以上前に一度だけ参加いたしました。ジャズフェスのために歯科医師だけのバンドを結成し、学生時代以来のギターを練習し、見事オーディションに合格！ジャズフェス当日は緊張しギターを持つ手は少し震えていましたが、80年代の洋楽を中心に5曲ほど演奏させて頂きました。あっという間の30分間でしたが、青空の下での演奏はとても気持ちがよく、観客の方の温かい拍手にとても感動したのを憶えています。残念ながらコロナの影響で昨年と今年のジャズフェスは開催されませんでしたが、この状況が落ち着き再開しましたら、是非宮城に足を運んでください！おいしいビールと素敵な音楽があなたを待っています！

**太田口 義智**（薬学部8期生）

同窓生の皆様、大変ご無沙汰しております。この挨拶は決して謙遜などではなく、現在の状況を考えると、久しくお会いできていない方々ばかりです。気軽に食事や旅行に行けず、仕事が終わればすぐに自宅へ帰る、私と同じような生活を送っている方もきっと多いでしょう。この「同窓生のひろば」を執筆することで、皆様と久しぶりに会えたような気分になれるでしょう。今回このような貴重な経験をさせて頂くにあたり、大学時代を懐かしみながら皆様と少しでもお話ができればと思います。

私が卒業したのは2018年の3月、早いもので薬剤師歴も4年目となりました。私の近況を少しお話しますと、現在総合南東北病院に勤務しており、かねてから興味のあった感染領域に足を踏み入れたばかりです。ASTやICTへの参加、TDMの実施など、まだまだ未熟な私ですが、日々学びながら精進しております。また、当院では病棟での配置業務も実施しており、私は主に循環器科や外科病棟での業務に従事しております。現在はCOVID-19のワクチン調製業務も実施しておりますので、毎日忙しいながらも充実した日々を送っています。

大学に入学したとき、あれは確か震災から1年が経過した頃だったでしょうか。あの時、私も含め新入生は皆少なからず不安を感じていたに違いありません。それは新しい道に踏み出したからかもしれません。震災から完全に立ち直っているわけでもなく、何か得体のしれないものに怯えていたような感情だったのを覚えています。ですがそんな状況でも、私はそこで友人と出会い、日々切磋琢磨し合いながら大学生活を過ごしていました。「あいつは今元気かな」「そういえばあんな事があったな」思い出を書き出すと切りがありません。

いま現在も、この状況に対して大きな不安を抱えている方はたくさんいらっしゃると思います。私もそのうちの1人です。人生で経験したことのないこんな状況でも、昔のように友人とバカ話ができる日々が来ると信じ、今を全力でもがいております。奥羽大学で学んだ経験を生かし、これからもさらにもがき続けます。最後になりますが、同窓生の皆様のご健康とご健勝をお祈りいたします。一緒に乗り越えましょう！

## 人　事

| | 旧 | 新 | |
|---|---|---|---|
| <再任用> | | | |
| 堀江　均 | 薬学部 教授 | 薬学部 教授 | 7月24日付 |
| <兼務> | | | |
| 佐藤　和義 | 学事部部長<br>病院事務部事務長 | | 7月1日付 |
| <昇格> | 旧 | 新 | |
| 円谷　敦子 | 病院事務部 事務職員 | 病院事務部 係長 | 7月1日付 |
| <再雇用> | | | |
| 馬場マキ子 | 病院医療部 | 看護師 | 7月12日付 |
| <異動> | 旧 | 新 | |
| 鈴木　貴子 | 病院事務部 事務職員 | 総務部 事務職員 | 6月17日付 |
| 国分　優子 | 病院事務部 課長 | 学事部 事務職員 | 7月1日付 |
| 影山　利夫 | 病院事務部 課長（相当職） | 学事部 事務職員 | 〃 |
| 橋本　稔 | 病院事務部 課長補佐 | 学事部 事務職員 | 〃 |
| <定年> | | | |
| 馬場マキ子 | 病院医療部 | 看護師 | 7月10日付 |
| 小林　勝彦 | 学事部 | 技術職員 | 7月13日付 |
| 堀江　均 | 薬学部 | 教授 | 7月23日付 |
| <退職> | | | |
| 大和田珠里 | 事務職員 | 総務部 | 6月25日付 |
| 中葉　利男 | 事務長 | 病院事務部 | 6月30日付 |
| 中條　雅人 | 助教 | 附属病院 | 7月29日付 |
| 渡邊　克己 | 課長 | 学事部 | 8月31日付 |
| 吉田　貴弘 | 係長 | 図書館事務部 | 〃 |
| 志田　宜丈 | 技術係長 | 総務課 | 〃 |
| 佐々木未来 | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |

奥羽大学報169号（通算No.294）令和3年10月15日発行
発　行　奥羽大学
学報編集委員会
委員長清野和夫

〒963－8611　福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話　024（932）8931㈹　FAX　024（933）7372
ホームページアドレス　http://www.ohu-u.ac.jp
メールアドレス　info@ohu-u.ac.jp

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。

（お問い合わせ先 企画・広報課）〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1　FAX 024-933-7372　E-mail info@ohu-u.ac.jp